

# コミュニケーション 研究法

末田清子・抱井尚子・田崎勝也・猿橋順子 編著

## 実験法や質問紙法など多彩な研究手法を網羅

コミュニケーションの何を明らかにしたいのかによって研究手法は選ばなければならない。本書では、研究倫理などの心構えから、フィールドワークや実験法、質問紙法、統計まで、多彩な研究手法を網羅して解説する。

### 本書の内容

#### 第1部 導入編

##### 1 コミュニケーションを科学する

1. 本章の目的 / 2. 科学とは何か / 3. 社会科学としてのコミュニケーション学 / 4. コミュニケーションを科学することの価値

##### 2 コミュニケーション研究のアプローチ

1. 本章の目的 / 2. 研究テーマとアプローチの多様性 / 3. 客観的真理 (truth) が複数の現実 (multiple realities) か? / 10 / 4. 分析単位が個か全体か? / 5. 現状理解が社会変革か? / 6. コミュニケーション研究アプローチの歴史的変遷 / 7. まとめ

##### 3 科学的・社会的営為としての研究

1. 本章の目的 / 2. 研究、方法論、研究デザイン、研究手法として研究計画 / 3. 科学的・社会的営為としての研究 / 4. 研究アプローチの選択 / 5. 量的研究と質的研究 / 6. 研究計画書・研究論文の書き方 / 7. おわりに

##### 4 研究倫理

1. はじめに / 2. 研究倫理の必要性 / 3. 課題の設定とデザインを組むときの倫理的問題 / 4. データ収集時の倫理的問題 / 5. 量的研究の倫理的問題 / 6. 質的研究の倫理的問題 / 7. 分析の際の倫理的問題 / 8. 研究を公表する際の倫理的問題 / 9. 研究倫理委員会とは

##### 5 先行研究調査とその方法

1. 先行研究調査とは何か / 2. 先行研究調査の重要性 / 3. 先行研究調査の目的 / 4. 先行研究調査の位置づけ / 5. 先行研究調査のステップ / 6. 文献・情報の入手方法 / 7. おわりに

#### 第2部 量的研究法

##### 6 量的研究の概要

1. はじめに / 2. 量的研究とは / 3. 量的研究の目的と科学思想 / 4. 測定と数量化 / 5. 測定法の選択 / 6. 因果関係と研究デザイン / 7. おわりに

##### 7 実験法

1. 本章の目的 / 2. 因果関係が成り立つための3つの前提 / 3. 実験法における3つの変数: 独立変数 / 4. 実験法における3つの変数: 従属変数 / 5. 実験法における3つの変数: 剰余変数 / 6. 実験法で考慮すべき3つの妥当性 / 7. さまざまな実験法 / 8. 実験法の限界 / 9. おわりに

##### 8 質問紙法

1. はじめに / 2. 質問紙調査の手順 / 3. 質問紙の構成 / 4. 測定尺の作成 / 5. 質問紙調査の実施方法と注意点: 標本数と標本抽出の方法 / 6. おわりに

##### 9 データの要約と記述統計

1. はじめに / 2. データの入力と整理 / 3. 分布の様子を知る: 記述統計値の算出 / 4. おわりに

##### 10 統計的推測と仮説検定

1. はじめに / 2. 母集団と標本 / 3. 標本分布の役割 / 4. 正規分布の性質 / 5. 仮説検定のロジック / 6. 仮説検定の実際 / 7. 変数の組み合わせと検定法 / 8. おわりに

#### 第3部 質的研究法

##### 11 質的研究の概要

1. 本章の目的 / 2. コミュニケーション研究における質的研究の歴史的動向 / 3. 質的研究とは / 4. 質的研究を選択するうえでの心構え

##### 12 インタビュー法

1. インタビュー法の目的 / 2. インタビュー法の種類 / 3. インタビューの実施 / 4. 分析法: KJ法を振り所に / 5. おわりに

##### 13 フィールドワーク

1. 本章の目的 / 2. フィールドへのコンタクト / 3. データの収集・記述方法 / 4. 論文の執筆 / 5. おわりに

##### 14 会話分析

1. 会話分析の目的 / 2. データ収集と書き起こし / 3. データ分析 / 4. 会話分析の利点と限界

##### 15 グラウンデッド・セオリー・アプローチ

1. グラウンデッド・セオリー・アプローチの目的 / 2. データ収集 / 3. データ分析法 / 4. GTAの利点と限界

#### 第4部 応用編

##### 16 ミックス法

1. 本章の目的 / 2. ミックス法とは / 3. ミックス法による研究の種類 / 4. 研究論文の発表 / 5. ミックス法の利点と限界

##### 17 アクションリサーチ

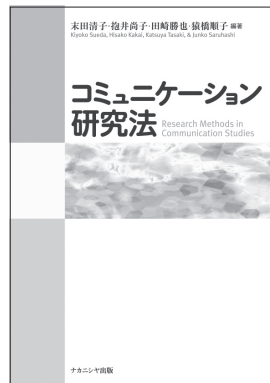
1. アクションリサーチの特徴 / 2. 何を捉えてみるのか / 3. アクションリサーチの形式分類 / 4. アクションリサーチの実施方法 / 5. 心構え / 6. アクションリサーチの研究の利点と限界

##### 18 テキストマイニング

1. テキストマイニングの目的 / 2. データ収集 / 3. データ分析法 / 4. テキストマイニングの利点と限界

##### 19 PAC (個人別態度構造) 分析

1. 本章の目的 / 2. PAC分析 / 3. PAC分析のプロセス / 4. PAC分析を採用する意義と課題



### 著者紹介

#### 末田清子 (すえだ・きよこ)

青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科教授

#### 抱井尚子 (かかい・ひさこ)

青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科教授

#### 田崎勝也 (たさき・かつや)

青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科准教授

#### 猿橋順子 (さるはし・じゅんこ)

青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科准教授

書名	コミュニケーション研究法		
編者	末田清子 ほか 編著		
定価	(税抜) 3,200円		
ISBN	978-4-7795-0546-1		
B5判	291頁	並製	

ご注文用紙【3,200円(税抜)】

『コミュニケーション研究法』を

冊注文します。

お名前		電話	—	—
送付先	〒 —	所属		

※上記注文用紙に記入してFAXにて弊社までお申し込み下さい(送料・振込手数料無料)。

TEL 075-723-0111 / FAX 075-723-0095

ナカニシヤ出版

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15

www.nakanishiya.co.jp